

2 - 5 - 1 岐阜城の歴代城主

年号	西暦	天皇	城主名	備考
建仁年間	1201～ 04	土御門	二階堂行政 斎藤朝光 井が光宗 稲葉光資	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府の軍事目的のため築城する。
正元年間	1259～ 60	御深草	二階堂行藤	<ul style="list-style-type: none"> 稲葉氏と改姓 稲葉山城と名付ける。 岐阜関市付近に領地をもち、当地に新長谷寺を再興する。
応永年間	1394～ 1428	後小松 御花園	斎藤利永	<ul style="list-style-type: none"> 守護土岐氏の守護代で、城を修築する。 文安2年(1445)加納城に移る。禅武一致の武人と称えられる。 持是院と号し、歌人としても有名である。 道三の父親といわれる。
天文18年	1549	後奈良	斎藤妙椿 長井新左衛門尉 斎藤道三	<ul style="list-style-type: none"> 稲葉山城を大改築し、井之口城下をつくる。 天文23年(1554)家督を子の義龍に譲り、鷺山城に移る。 弘治2年(1556)義龍と戦い敗死する。
天文23年 永禄4年	1554 1561	正親町	斎藤義龍 斎藤龍興	<ul style="list-style-type: none"> 永禄4年5月、突然病死する。(34歳) 若年で跡を継ぐが、永禄7年(1564)2月、竹中半兵衛重治によって稲葉山城を一時占拠される。永禄10年(1567)8月、織田信長に攻められ開城。
永禄10年	1567		織田信長	<ul style="list-style-type: none"> 尾張清州から移り、天正4年(1576)安土城に移る。姉川・長篠合戦に勝利し楽市楽座などを行って、岐阜城下の発展をはかる。政治・産業・文化に貢献する。
天正4年	1576		織田信忠	<ul style="list-style-type: none"> 父信長の跡を継いで、岐阜城下の繁栄につくす。 天正10年(1582)6月2日、本能寺の変で明智光秀に攻められ、二条城で戦死する。
天正10年	1582		織田信孝	<ul style="list-style-type: none"> 信長の三男で伊勢神戸城から移り、天正11年(1583)秀吉に攻められ開城する。
天正11年	1583		池田元助	<ul style="list-style-type: none"> 大垣城主池田恒興の長男。岐阜城下の加納に楽市楽座令を出す。 天正12年(1584)の小牧・長久手合戦で敗死する。

年 号	西 暦	天 皇	城主名	備 考
天正 13 年	1585		池田輝政	・ 天守閣や櫓を造営して城を堅固にしたり、加納に楽市楽座令を出す。天正 18 年(1590) 9 月三河吉田城に移り、後に姫路城主となる。
天正 19 年	1591	後陽成	豊臣秀吉	・ 秀吉の甥（母は秀吉の姉）で養子。文禄元年(1592) 朝鮮に出陣し、唐島（巨済島）で病死する。
文禄元年	1592		織田秀信	・ 信長の孫で最後の岐阜城主。安土城から移り、慶長 5 年(1600) 8 月東軍（徳川軍）に攻められ開城。後に高野山へ入り、慶長 10 年(1605) 死去する。(26 歳)
慶長 6 年	1601		廃 城	・ 徳川家康の命令により廃城。資材を加納城へ移す。
明治 43 年	1910	明 治		・ 模擬城建設。諸輪 18 年(1943) 2 月焼失する。
昭和 31 年	1956	昭 和		・ 元材の天守閣を再建する。
平成 9 年	1997			・ 「平成の大改修」を行なう。

岐阜市

説明板より